

開講科目名 / Course	養護実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	3.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平	
担当教員名 / Instructor	関根 剛、吉村 匠平	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	実習	
科目の目的と概要	児童生徒及び養護教諭をはじめとする教職員との交流を通して、養護教諭に求められる資質、自らの養護教諭としての適性について省察を深め、卒業後の自身の進路を選択する。養護実習では、学校保健や学校安全がどのような理念及び体制の下に管理されているのか、保健室の活動に参加しながら理解を深めることを目的とする。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校における保健管理について説明できる。</li> <li>2. 学校における安全管理について説明できる。</li> <li>3. 学校における環境衛生の管理について説明できる。</li> <li>4. 学校保健、学校安全に関する組織活動について説明できる。</li> <li>5. 学校における保健教育について説明できる。</li> <li>6. 養護教諭の指導の下で、保健指導案を作成し、児童生徒を対象に実施する。</li> </ol>	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	<p>実習を通して、以下の内容についての学びを深める。実際の実習計画については、実習期間の学校の行事予定を勘案し、実習校が中心になって策定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健（安全）教育、保健（安全）指導</li> <li>2. 児童生徒の健康、安全、生活の管理</li> <li>3. 学校環境の衛生、安全の管理</li> <li>4. 学校保健組織活動</li> <li>5. 学校における危機管理</li> </ol> <p>実習先：大分県内の小中学校で実施する。 実習期間：2024年8月下旬～9月下旬の9日間程度（実習校と打ち合わせの上、確定する）</p>	
その他の授業の工夫	実習期間中に担当教員が実習校を巡回する。zoomを用いて、指導案などの添削を行う。	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の実習で行われた講話内容、授業参観を記録する（7h）。</li> <li>・保健指導案を作成し、必要な資料、教材を自作する（5h）。</li> </ul>	
評価方法と評価割合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習校による態度・意欲面を中心とした評価（50％）</li> <li>・実習日誌の記載事項に基づく知識、思考、表現面を中心とした評価（50％）</li> </ul>	
テキスト		
参考書	改訂 養護実習ハンドブック（東山書房）	
履修する上で必要な要件	3年次までに開講される全ての教職課程の単位を履修済みであること。	
その他	<p>養護実習は、教職課程履修のクライマックスです。職業として養護教諭を選択するのかもしれないのか、するとして、すぐ教壇に立つのか、しないとして、数年後には教壇に立つのか、人生の大きな選択をすることになります。色々なことを自分で考え、判断して動く、主体的な関わりを求めます。こういうことをしてみたい、してもいいのだろうか？と感じた際は、失敗を恐れずに、実習校の先生、大学の指導教員に尋ねてください。実習校までの移動に要する旅費、給食費は、自己負担となります。</p>	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	吉村匠平：公認心理士、学校心理士 関根剛：臨床心理士
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	巡回指導の際に、保健学習指導案の指導を行う。	